日本ビジネス中国語学会

会　　報

第８号

第 8 回 総 会 開 催

公開講演会・会員シンポジウムを同時開催

日本ビジネス中国語学会の第8回総会が、6月27日（土）午後2時より、大阪市中央区の大阪商工会議所会議室において開催され、熱心に審議を行いました。

総会は会則に基づき伊地智善継会長が議長をつとめ、総会成立の確認の後、藤本理事長より活動の報告、岩下事務局長より収支報告、待場会計幹事より監査報告をそれぞれ行い、審議の結果いずれも承認されました。

続いて今年度の活動案、予算案提出と説明を行いそれぞれ承認されました。

総会の後に公開講演会・会員シンポジウムを開催し、古川裕先生が「中国語能力の測定試験について」の演題で、英語と中国語のテストの比較や概要に触れた後、「試験が多いのは、腕試の場として中国語学習者にとっては望ましい」と、したうえで、“テストのためのテスト”にならない様にするにはどうすればよいか等を話された。上林紀子先生は「初級ビジネス中国語を教えて」の演題で、大学で中国語を専攻する3回生を対象とした授業での体験を紹介された。沢田啓二先生は「パーフェクトＴＶくびったけ」の演題で、衛生放送の番組を中国語教材として活用していく上での苦労や学生の反響等について、授業に使ったビデオを流しながら話された。参加者からも質問や経験談が多く出され、熱心に質疑応答が行われ予定時間が少し超える程でした。（講演要旨は本号に掲載）

講演会終了後会場を移し、会長を囲み懇親会を催し親睦を深めました。

日本ビジネス中国語学会第 8 回定期総会議事記録（要旨）

1998年 6月27日（土）大阪商工会議所会議室

1．14:00	議長選出　会則にもとづき伊地智善継会長がつとめる。	
2．総会成立	藤本氏より報告。４月１日現在会員６３名の内、出席者１６名、委任状３４名、合計５０名。過半数で成立を確認。	
3．報告	活動報告（藤本恒）：資料にもとづき報告。	承認
	収支報告（岩下孝彦）：別紙の通り収支情況を報告。	
	幹事報告（待場裕子）：正確に記帳されている事を認めます。	承認
4．活動案提出	藤本恒より資料にもとづき提案。	承認
5．予算案提出	藤本恒より資料にもとづき提案。	承認
	来年度より年会費を3,000 円にすることになりました。	
6．14:30	閉会	

＊総会成立会員数６３名は97年度会費納付者の数で、会員名簿数とは差があります。

日本ビジネス中国語学会

主な活動報告　1997.4.1～1998.3.31

☆定時総会　（９７年）

６月１４日（土）　大阪商工会議所

☆親睦会

６月１４日（土）　総会終了後に開催

☆ビジネス中国語検定試験

１１月１４日（土）　東京・大阪の２会場で実施

内訳	申込者	東京	大阪	合格者
２級	１６名	2	１４	１２
３級	３５名	１６	１９	２９
４級	９名	2	7	6
合計	６０名	２０	４０	４７

（９６年度４３名）

出席者：大阪－武吉、岡本で事務分担

東京は実用中国語検定協会に依頼。

＊ビジネス中国語検定試験に関するアンケート結果を次頁に掲載しましたのでご参照下さい。

ビジネス中国語検定・の教材関係アンケート集計表

1. ビジネス中国語にご関心をお持ちですか？
   ある (25)
   ない (1)
   計　 (26)

2. 貴学ではビジネス中国語関連の教科を開設していらっしゃいますか。
   開設している　 (20)
   開設していない (6)
   計　　(26)

3. 必修科目ですか、それとも選択科目ですか。
   必修　　(2)
   選択必修　(5)
   選択　　(15)
   計　　(22)

注：3・4 合同クラスで、必修と選択にわかれているものあり。

4. 何年次に履修しますか。1997 年度の履修者数は何名でしたか。

	9 人以下	10～19 人	20～29 人	30～39 人	40 人以上	不明	計
3 年次		4	1	1	2	2	10
3・4 年次合同	2	2	1	1	2	2	10
計	2	6	2	2	4	4	20

5. ビジネス中国語関連授業は週何コマですか。
   通年・1 コマ　　16
   通年・2 コマ　　3
   不明　　1
   計　　20

6. 教材は何を使っておられますか。（集計別紙）

7. ビジネス中国語検定試験のことをご存知ですか。
   知っている　 (21)
   知らなかった (6)
   計　　(27)

8. 知っている とお答えになった方に：
   受験している　 (6)
   受験していない (13)　　不明 (2)
   計　　(21)

9. 日本ビジネス中国語学会に対する率直なご意見をお聞かせください。（集計別紙）

学会に対する意見・要望など

1. 授業関連

○ビジネス中国語としては開設していないが、近年は３・４年次に経済学・経営学専攻のネイティブ教員（常勤・非常勤）を配備している。

○本校では1997年度より中国語インテンシブ・コース（週６コマ）を開設したので、これから需要が出てくると思われる。

○学校の性格からビジネス中国語関係の積極的教学展開が難しい。

○今年から商業中国語カリキュラムがが非常勤教員により開設された。

○中国語を専攻する学生は、語学力が高いから、ビジネス中国語への理解も早いようである。講師自身の対中ビジネス経験が非常に大事で、具体例を挙げながら説明するのが効果的だと考える。

2. 教材関連

○週１～２コマで１～２年間中国語を学んだ学生に適したレベルの教材が見当たらない。

○時事中国語関係の教材（プリント）作成にいつも歯がゆい思いである。情勢が流動的で変動性が高いので出版は難しい（出版した時点で使えなくなる）プリントに頼らざるを得ない。

○文系（経済学部など）第二外語で中国語を選択する学生に対して、教師の立場からも「ビジネス中国語」では、易しい教材（ピンイン付きで内容のあるもの）が多く出版され選択できることが望ましい。

○第二外語で中国語を選択する学生にとり「やさしいビジネス中国語会話」（ピンイン付き）のような実質的なテキストが望まれる。

○どう教えるかの研究会や勉強会、教材作り、テープや補助教材開発などをやって欲しい。

3. 検定試験関連

○現在、中国語検定を実施しているが、ビジネス中国語検定も考えていきたい。

○昨年学生に検定試験を受けるように薦めたが、授業が土曜日で時間的にもぶつかるため、欠席してまで試験を行くことは難しい。

4. 学会活動関連

○東京にも事務局ができることを期待したい。

○日本ビジネス中国語学会が中心となって、より多くの教員に、学会活動を広げ、関心を持ってもらうように、さらに関西のみならず関東の方にも発表できるような機会を設けて欲しい。（中国語の世界には難題が多く、今後ともさらなる努力が必要。）

○このようなアンケートを学会員以外にも広く行い、全国的な中国語教育機関におけるビジネス中国語教育・中国語通訳養成の現状をまとめて欲しい。

○どう教えるかの研究会や勉強会、教材作り、テープや補助教材開発などをやって欲しい。

5. その他

○日中貿易・文化・経済交流ができる人材を養成したい。

○毎年中国語の卒業生を一定数送り出しているが、送り出す側としては、経済界がどの程度即戦力になる人材を求めているのか知りたい。

○学生の中国情勢（政治・経済）についての関心が薄い（一部を除けばウルルン滞在記的関心にとどまる）のが教育展開の大きな障害である。

ビジネス中国語教材一覧表

アンケート回答中、名前があがっていたもの

中国現代商業通信文	住田照夫	燎原	1972
外贸洽谈五百句		北京外文出版社	1983
ビジネス中国語会話	林　芳	ジャパンタイムス	1986
実習ビジネス中国語商談編	星　博人	白水社	1987
中国語ビジネスレターテキスト	武吉次朗	光生館	1990
ビジネス中国語セミナー	藤本恒	東方書店	1990
ビジネス中国語マニュアル	藤本恒・岡本篤子	東方書店	1994
実践ビジネス中国語会話	塚本慶一	白水社	1995
通訳入門		白帝社	1997
中国語常用熟語400		日東出版社	
その他　※		自家製プリント	

※　回答者の多数

その他入手可能な教材（参考）

中国貿易用語辞典	住田照夫	燎原	1977
ビジネスマンのための日中貿易会話	日中貿易用語研究会	東方書店	1981
日中貿易通信文ハンドブック	中西一介他	金星堂	1983
ビジネスマンのための日中貿易コレポンハンドブック	日中貿易用語研究会	東方書店	1984
中国語書簡文表現辞典	大河内康憲他	燎原	1985
ビジネス中国語単語手帖	林　芳	ジャパンタイムス	1986
ビジネスマンのための日英中貿易用語辞典	日中貿易用語研究会	東方書店	1986
ビジネス中国語レター文例集	永田小絵	ジャパンタイムス	1987
実践貿易中国語	張　聡仁	大学書林	1987
パターンで学ぶ最新貿易中国語	遠藤紹徳	国書刊行会	1989
貿易中国語会話	伊藤忠商事	東方書店	1989
東方中国語講座6・商業通信文篇	藤本恒・伊井健一郎	東方書店	1989
中日対照ビジネス文書大全	藤本　恒他	東方書店	1995
ビジネス中国語入門編	相良逸欣	国書刊行会	1997

注：その他については、現在日本の書店で入手可能なものに限った。
　ビジネス中国語の授業で、テキストとしてそのまま使用できるものはきわめて少ないので、参考書・会話テキストなども参考までに列記した。
　上記以外に、お気づきのものあれば、知らせてほしい

パーフェクトＴＶ　くびったけ

沢田　啓二　（天理大学）

衛星放送を利用した中国語教育の試行錯誤についてのレポート

約２年前、1996.10 から放送が開始されたＣＳを、はじめは一人で楽しんでいましたが、語学教材として利用できないかと考え始めました。まだよちよち歩きですが、皆様方のご教示を賜りたくお話させていただきます。

１．教材　Ch.253　「ＣＴＮ中天」

A.「大陆传真」（チャイナ・レポート、以前は「来自大陆的报道」）
B.「北京内外」（中南海インサイドレポート）
C.「金上海」（ゴールデン上海）
D.「香港传真」（香港レポート、以前は「香江新页」）

以上が 30 分番組としてまとまっている。それぞれ 12、3 分前後で第１節（前節）第２節（後節）に分かれていて、内容によっては前後通しで構成されることもある。D「香港レポート」は、街頭インタビューで広東語がまじることが多く、少し使いにくい。A「チャイナレポート」 B「中南海インサイドレポート」に集中した方がロスが少なく教材にしやすい。

このほか種々の放送があるが、教材としてまとめるには無理がある。また「ＣＴＮ中天」は再放送ばかりだ、という感想は「ＣＴＮニュース」などが繰り返し放送されるためであろう。月刊の番組表を見て、視聴時間を限定すればよい。

本日は、以上の番組から以下のものを時間の許す限りご紹介したい。
ａ．「国営企業の改革、退職労働者」（資料１）（約１分３０秒）
ｂ．「労働者の子弟の学校」（資料２）（約１３分）
ｃ．「新しい交通規則」（資料３）（約５分）
ｄ．「洗車族」（資料４）（約１２分）
（注：当日は時間の関係で、ｃ，ｄはご紹介できませんでした）

なお、「パーフェクトＴＶ」は「スカイ・パーフェクトＴＶ」になって、この７月から本格的に放送が始まるようだが、現在までのところ、娯楽的要素がかなり強く、「中国事情」を採集するためには「ＣＴＮ中天」がやはりメインになりそうである。字幕の付く割合も異なる。「ＣＴＮ中天」には非常に多く字幕が付くので「聴き取りやすい」。

「スカイ・パーフェクトＴＶ」の Ch.783「ＣＣＴＶ大富」だったか Ch.784「楽楽チャイナ」だったか、工場閉鎖にともなう工場の党委員会と一般労働者の動き、人間関係がドラマとして放送された。上記の　ａ「国営企業の改革、退職労働者」と並べて見るのも有益である。

２．教材としてのメリット

今日の中国情報である。中国事情を背景にして現代中国語を学習することができる。

学生は今日的な情報には興味を示す。否定的な見方をすれば活字離れであるが、肯定的な見方をすれば動画の情報伝達力の強さである。

中国語学習の動機づけとしての力は相当強い。教材としての利用の方法次第では有力な武器になりうる。

通常のニュース報道と異なり、上記の<特集番組>は恐らく２～３年ほど以前からテーマをあたためているのであろうが、それでも「現在の中国」と言っていいと考える。また、編集スタッフの手を経てはいるが、日本人の教員がテキストを作成するよりはリアルではあるまいか。チームを組んで番組を構成していて、一人や二人の教員では考えつかないものがある。

丹念に語彙や文法項目に配慮して作成されたオーソドックスなテキストとはまた別の効用がある。授業ではアナウンサーの整った中国語を暗誦したがる学生が多いが、ビデオを見ている段階では街頭インタビューの、音声は聞き取りにくいが生き生きしたシーンに注目する学生も多い。

机に向かって原書講読するより、「体感」できるのではないか。従来の形態の授業ではつかみきれなかったタイプの学生を取り込むことができそうである。

３．学習量

従来の「原書講読」「訳読」の授業では、600～800 字を１コマで訳読するのではないか。(通常テキストの半ページ～１ページ程度の進度が普通ではないか)

衛星放送の字幕の字数を試みに計算すると、

約１分３０秒の放送（資料１）	約３９０字	約１７０語、関連語句
約５分の放送（資料３）	約１２００字	
約１３分の放送（資料２）	約２８４０字	約７２０語、関連語句

（１分で２４０～２６０字の目安で字幕が付く。たまたま調べた限りではあるが）

利用の仕方にもよるが、１分３０秒の放送でも２コマ必要なことがあり、従来の原書講読に比べて学習量は表面的には２分の１～４分の１に減るかもしれない。

但し、動画が補う情報量は別途考慮しなければならない。

４．テキストの読みやすさ、厳密さ

原書講読の小説や論文は推敲を重ねて整然とまとまっている。

衛星放送の字幕は場面ごとであり、句読点がない。前後のシーンとの脈絡をつけにくいこともある。異なるシーンで複文になったりすると分かりにくい。

字幕をプリント配布して訳読する際、とまどう場合がある。あくまで字幕の流れに乗って理解するしかない。要領、カンが必要になる。この流れを把握するのが結構難しいようである。

５．テキストの確定が困難

アナウンサーの台詞は字幕と音声のズレが少ない。ズレがあっても逆に口頭語と書面語のズレが分かりやすいということもある。

「时」 という字幕で 「de shí hou」 と発音する。

街頭インタビューの場合は、テキストが確定しにくい。
「了」や「的」など、字幕ではしょっちゅう省略されるが音声では聞こえる。
また、言語以前の雑音と思っていたものの中にコトバが認められることがあり、油断できない。

字幕を打つ担当グループ（30～40 人くらいか）も、時間の制約があるようで、ミスもあり、とりわけ街頭インタビューの字幕は発言を端折って、大意で済ませていることもある。
専門の中国人スタッフですら端折らざるをえない発言を、すべて文字化しようとしても無理である。
今後は、アナウンサーの台詞だけはできるだけ文字化し、街頭インタビューの、人々の発言についてはほどほどのところで（最低限度の修正で）妥協するしかないと考える。

6．発音・語彙・文法そして繁体字

発音（発信地が香港であり、台湾のニュースも多い）

星期一　xīngqīyī　と発音せず、「期」を軽声に、xīngqiyī と発音する。
昔なつかしい発音としては、法国 Fàguó　朝鮮 Cháoxiǎn　教室 jiàoshì　などが聞こえるし、辞書では確認できないが、複数のアナウンサーが「企」を第４声に発音して
企业　qǐyè　と言う。
発音の新旧、方言、正誤の指導を考えると難しいものがある。長らく日中貿易の第１線で活躍された方の体験でも、教科書どおり办公室 bàngōngshì と言うと却って「ハア？」という顔をされてしまうそうである。実用面では「普通话」より多用されている発音と、現行の辞書や学校教科書に記載されている発音とのズレは指導しにくい。しかし、生の言葉に慣れるという点では、このビデオ教材の利用は大いに価値がある。

語彙（報道内容が多岐にわたる）

内容が多岐にわたることと、時代を反映して新語、流行語が多く誕生している。語彙を的確に訳すのは難しい。
下岗　xiàgǎng　下海　xiàhǎi　などの語義について「现代汉语词典」（修订本）（1996）を参照しても、今日的な意味を記述すると言う点ではムラがある。
顺差　shùnchā　逆差　nìchā　があり、赤字　chìzì　がある。類義語について辞書が満足な記述を与えてくれないのは普通のことであるが、「以前は<赤字>の概念すらなかった」という実務者の言葉も聞く。経済関係の述語をはじめ、教師も学生もニュースを見ながら共に学ぶしかないようである。

文法

これは表面的には比較的簡単であり、通常１年生の文法知識で足りる。ただ最大限１４文字ｘ２行の字幕についていけるかどうか、それが２重に複文の構造を持つ場合など１シーン先が予測できるか。（また、的　de、了　le　などが字幕ではしばしば省略される。聞き取りにくくテキストの確定がしにくいので、厳密に言えば難しいこともある。報道内容の理解には大して支障はない）

繁体字（字幕はすべて普通話の繁体字）

老板　lǎobǎn　などが繁体字で書かれるととまどう。一時停止をして字幕を書き取らせるとき、報道内容によっては想像がつかない。画面がちらつく。学生も２音節の語彙については

どちらかの１漢字を手がかりにして辞書をひきつつ確定していくようである。通常見かけない道教などの語彙を含む報道では「お手上げです」と教師に訴える。

拼音を覚え、簡体字に慣れたあとで繁体字というのは酷ではある。ただし、卒業後の実用性という点から考えれば、ある程度修得しておく必要はある。

7.学習の効果

模索中ではあるが、満足できる。

一つには、現在の中国の動画を見ながらの語学の授業であり、興味を持続させやすい。特定の人物のアップより、背景に街頭風景などが映る放送を選択する必要がある。

一つには、「体感」できる。眼、耳、手を総動員し、あっというまに時間が過ぎて、私語をしている暇がない。「達成感」があるという。

以下、もう少し詳細に述べる。

（１年で５コマ、２年で４コマの必修の中国語の授業を終了した３年次生の選択必修の授業）

発音

現在 17 名（３年次生、選択必修）の受講生のうち、１名は完全にのめりこんでいて、字幕のスピードと同じ速さで、発音もほぼ正しく、画面について発音できる。（音声を消した画面についていく。字幕は見ることができる。ただし、次の字幕が始まる前にすでに発音を開始しているので相当なスピードの暗誦と言っていい）２～３名は相当上手な発音で暗誦できる。２～３名はまずまず暗誦ができる。２～３名は暗誦を失敗するが一応朗読して発音できる。（あと数名はまだ指名していない。刺激された別の１名が画面のスピードについて発音することに挑戦したことがある。半ばにして失敗するが、学生間の相互の刺激が見られる）

なお、暗誦した学生の発音の中には、ビデオ・テープの音声の特徴にきわめて近いものがあり、ヒアリングの効果もあると見られる。

翻訳

発音に比べると少し問題があるかも知れない。（テキストに句読点がなく、やりずらいこともあるが、もともと２年次生の「文法・講読」の授業のときにも翻訳は少し雑である）

発音と翻訳の時間の配分など、なお考えたい。

報道内容の理解

総合教材として考える場合と、語学教材に限定して考える場合と、利用の仕方、重点の置き方が異なる。中国事情の学習と語学のトレーニングとは完全には分離しがたい。授業の進度にも関わり、教師の授業準備の重点の置き方にも関わる大きな問題である。

ヒアリング

一時停止をして字幕を書き写したあと、字幕と音声のズレを学習させる目的であった。字幕を書き写すのは、発言内容を理解する「補助手段」のつもりもあった。これほど多岐にわたる内容をはじめからすべて聞き取れるものではない。

街頭インタビューのセリフも聞かせて悪いとは思わない。表情を伴った生き生きした中国語である。学生はむしろこの方に興味を示す。しかし、今後はアナウンサーの台詞に限定してヒアリングの練習をすべきかも知れない。アナウンサーの台詞は予定原稿もあるはずで、発音も模範的であるから、教材にもしやすい。「街頭インタビューの、人々の生の発言」はテキスト化しにくい。動機づけ、生の中国語に対する耳慣らし、程度に考えたい。

8．実際の授業の流れに従って、実践報告

添付資料について（国営企業の改革、退職労働者）

1）事前の自宅での準備を要請する。

2）授業中に全員で書き取りをする。

ビデオ・テープを一時停止しながら字幕を書き取る。（４０分）

(連休明けの時間の余裕のためもあり、事前準備の熱心さには満足する)

3）書き取ったあと、テープを数回流して字幕と音声のズレを修正する。(失敗：教室内で、書き取ったテープの修正はしにくい。個人によって聞き取れなかった個所が異なる)

4）書き取った原稿をもとにして朗読した上で、日本語に翻訳をする。（４０分）

１～２名を除いて、ほとんど全員が字幕のまま発音し、音声によって修正しないで、日本語に翻訳した。音声は無関係であるかのようで、少し狙いがはずれたかと思う。(暗誦の時には音声の影響を受けているが)

5）テープを流しているあいだ、しきりに辞書を引いたり、左右の同級生と相談している。主として繁体字と簡体字の問題があるようである。

6）句読点がない文を翻訳する、あるいはインタビュアーとそれに答える人々の、きれぎれの会話を翻訳するのは難しい。

7）テキストを確定しながらの作業であり、なおさら翻訳しにくい。(字幕とアナウンスが異なる)

8）翻訳を終了した後で、更にビデオ・テープを流して見る。(翻訳を終えた後のテープは、聞き取りが格段に容易になるようである)

9）書き取りと翻訳でほぼ１コマ終了する。

――翌週に暗誦をするように伝えて終了する。

１０）先述のように、ビデオ・テープについて、速い速度で発音できる学生もいるし、自分のペースで上手な発音で暗誦できる学生もいる。

(別のやや長い番組の暗誦の時、「アナウンサーでも、街の人でも、好きな個所、登場人物を真似なさい」というと、ちゃっかりしたもので、対話形式を２人でかけあい暗誦し、ノルマを半分にしてしまった学生もいて、それぞれなりの工夫で授業をこなしている)

(事前準備――授業中の書き取り――アナウンスを聞いて修正――テキストを確定しながらの日本語への翻訳――翌週の暗誦)

9．反省と模索

1）中国事情について関心を持たせることはできても、説明が難しい。ビデオを総合教材のサブにするか、語学教材のメインにするか、教授する側がはっきりリードしないとポイントが不鮮明になって、そのうち飽きが来るだろう。

2）１分３０秒のテープで、２コマでやっと終了しているが、通常の12,3分ほどの長さのテープの場合はどうするか。１テーマ４コマ（一ヶ月）の進度でいいのか。

3）音声を聞いて、字幕の原稿を訂正する作業は至難である。アナウンサーのセリフ以外は字幕だけで済ませる方針を決めた方がストレスが少ない。素人の発話、特に方言、訛りを含む発話は文字化しにくい。言語以前と思われる音声や、重複、混交する生の会話にこだわり続け

るのは無駄と考える。「あの、その～～」の類の「zhèige ya、nèige ya～～」などや「nàme」などは文字化すると却って翻訳の邪魔になる。聞いて楽しむだけでよい。
従来の、推敲を重ねた活字の小説や、論文を読むのとは異なる授業をするのだから、それなりの割り切りが必要であろう。すみからすみまで読みこなすべき教材ではない。

4）内容に関心さえ持てれば、語彙数の多さは気にしていない様子である。関心の持てる番組を採集し続ける負担の方こそ問題になる。

5）学習の効果の測定は困難であるが、活字になってしまった文章の表情、風景を読み取ることの困難さを思えば、ビデオ教材の利点を更に追求していくべきである。同じく男尊女卑、封建思想を語っても、先鋭な女流作家が書斎で、洗練された簡潔な言葉で話すのと、一生を野良仕事で過ごした農婦が、農村を背景にして、「私らの時代には纏足は当たり前だったんだよ。村に花嫁さんが嫁入りしてきたら、先ず足を見たもんだ」と話すのとを、従来の原書講読で、私自身どれほど、その口調の違いを読み取ることができていただろうかと、映像を見ながら反省する昨今である。

添付資料1（資料2以下は省略）

以下、もともと繁体字の字幕を簡体字で写したもの。簡体字に（　）を付したものは実際のアナウンスでは省略されて発音されなかった文字であり、ピンインで書き足したものは、逆に字幕には書かれていないものを音声に基づいて補ったものである。ピンインであって（　）を付したものは音声が東北方言で話されていたものを注記したものである。左端の数字は行数。1行空白を空けた部分は、映像のシーンが変わったことを示す。

（アナウンサーの台詞）

1　中国 大陆 进行 企业 改革　　（注：qìyè と発音している）
不 少 人 因为 被 裁员 而 成为 下岗 职工
ér 在 东北 的 辽宁省 最近
就 出现了 一 股 叫zuò 二人剧 的 热潮　　（注：二人转なら辞書に記載がある）
5　既 为 一 些 下岗 职工 提供le 一 条 谋生 de
出路
也 为 其他 下岗 职工 提供le bù shǎo 娱乐

在 辽宁省 沈阳市 的 街道上 或 公园
(内) li
10　围满le （一 团 一 团 人） yìqún yìqún 在 看 街头 二人剧
de rén
表演 的 题材 是 一 些 日常 生活 遇到
的 问题
或zhè是 讽刺 时弊
15　吸引le 很 多 de 市民 围观
在 看 得 高兴 的 时侯
他们 还 会 报以 掌声 和 笑声

除了 (在) 街头 表演 zhī外
一 些 下岗 职工 还 把 自己 的 房子
20 改成了 简陋 的 剧场
演员 和 乐师 起居 也 dōu是 在 这里
(インタビュー)
(现在) 国家 不 管 了
所以 lái bī迫着 (?) 就是 下岗 (注：bī迫と聞こえる)
自个 搞 点 (事 做) (注：?は何か言っているようだが判然としない部分)
(?)
(アナウンサー)
25 在 一 些 横街窄巷 经常 可以 听到
唱戏声 (和) huò zhě shì 音乐声
来 这里 看戏 的 都 是 附近 的 街坊
有的 是 下岗 职工
也 有 从 外地 来 pèng 一 碰 运气 的 民工

30 只要 几 角 钱 便 可以 消磨 大半天
在 百无辽赖 之中 成为了 他们 (的) (注：百无聊赖なら分かりやすい)
生活 de 寄托
(インタビュー)
běnlái jiǎng 在 家 也 没 什么 事
到 这里 来 看看
35 就是 热闹热闹 (yuènao yuènao)
(インタビュー) (注：ブロークンだが表情が面白い。
老百姓 比较 zhèige 能 听得懂 因为～～所以～～；虽然～～
所以 艺术 虽然 不 suàn 太 高 ya 但是～～が複雑に混ざっている)
dànshi lái jiǎng
zhèige (但是 来 说 是) 适合 zhèige 这 些 观众 ne、kàn
(アナウンサー)
40 虽然 这些 廉宜 的 娱乐 能 gòu 为 他们
解解 闷
不过、他们 最 希wàng 的 还是 得到 工作
不 用 再 担心 生活 问题

以上、文字の上からだけでは分かりにくいかも知れませんが、添付しておきます。右側に若干注記しました。

以上、日本ビジネス中国語学会(1998.6.27 大阪商工会議所)で口頭発表したものに若干補充、訂正した。 1998.7.30 沢田啓二

日本ビジネス中国語学会　　1998/06/27
1998年度シンポジウム　　於　大阪商工会議所

中国語能力の測定試験について

古川　裕
(大阪外国語大学)

1：英語と中国語のテスト

	英語	中　国　語
級別に合否を判定	英検	**中国語検定試験**　(1981年から実施)
スコアによる判定	TOEFL	**HSK　汉语水平考试** (初中等は1991年から、基礎は1998年から)
スコアによる判定	TOEIC	**TECC 中国語コミュニケーション能力検定** (1997年6月から実施)
大学入試センター試験	外国語：英語	**外国語：中国語**　(1997年1月から導入)

2：各テストの概要

	中国語検定試験	ＨＳＫ	TECC
目　的	到達度測定 *achievement test* (準4・4・3・準2・2・1級)	①能力測定 *proficiency test* (基礎1～3級・初中等3～8級) ②留学生（本科生）のクラス分け資料 *placement test*	能力測定 *proficiency test* (レベルA～レベルGに評価)
実施日程	3・6・11月 (2級は6・11月、1級は11月のみ)	6・11月 (基礎は1998年11月から実施、但し西日本のみ)	6・11月
開発	日本中国語検定協会	北京語言文化大学ＨＳＫ中心	中国語コミュニケーション協会
実施団体	日本中国語検定協会	日本HSK実施委員会 朝日中国文化学院・全国大学生協連	ベネッセコーポレーション
実施国	日本、北京、上海	中国、日本ほか16ヶ国	日本のみ
受験会場	２９会場	５会場	１６会場
受験料	¥3150～¥10500	基礎 ¥5000、初中等 ¥8000	¥4500
構　成	級により異なる 70/100/120分	基礎：3分野140問130分 初中等：4分野170問140分	2分野210問120分

3：各テストの問題構成

中国語検定試験	ＨＳＫ	TECC
	（初中等）	リスニング 100 問 55 分
（準２級）	听力理解　50 問 30 分	図画描写問題　20 問
ヒアリング　20 問 50 点	语法结构　30 問 20 分	写真描写問題　20 問
筆　記　　40 問 100 点	阅读理解　50 問 60 分	会話形成問題　20 問
合計 60 問 150 点 120 分	综合填空　40 問 30 分	会話内容問題　20 問
	合計　170 問 140 分 400 点	散文内容問題　20 問
		リーディング 110 問 65 分
（４級）	（基礎）	語順問題　　10 問
ヒアリング　20 問 100 点	听力理解　50 問 30 分	補充問題　　25 問
筆　記　　40 問 100 点	语法结构　40 問 40 分	補充総合問題　25 問
合計 60 問 200 点 100 分	阅读理解　50 問 60 分	語釈問題　　25 問
	合計　140 問 130 分 300 点	読解問題　　25 問
		合計　210 問 120 分 1400 点

4：テストの備えるべき条件 ⇒「受験英語」の轍を踏まないために

①**妥当性**：出題内容、分野、レベル、難易度が測定要求に合致しているか？
客観的で公平な採点が可能か？

②**信頼性**：出題が一貫しているか、結果が安定しているか？

③**包括性**：出題が実際の言語事実を全面的に反映しているか？
'听'　'说'　'读'　'写'　４技能のバランスはどうか？

④**実用性**：成績結果が説明力（解釈の容易性、利用価値）を持つか？

⑤**経済性**：受験者にとっての投資効果、出題・採点者にとっての経済性は如何？

⑥**波及性**：受験者に「動機づけ」、「達成感」を与えているか？
出題の偏りなどによって、学習に悪い影響を与えていないか？
受験者を特定の教材や教育コースだけに誘導しないか？
記憶力を測るだけのテストになっていないか？

5：既出問題（特に、悪問・愚問）の検討

1) 設問の意図がわかりにくい出題

（例）次の問いにおいて、単語を構成する二つの漢字それぞれの最初の子音を除いた部分の発音が同じものが一つずつある。それを①～④のうちから選べ。ただし、声調は問わない。

①地址　②必须　③其实　④积极

2) 設問や選択肢を見ただけで、答えがおよそ予想できる出題

（例）次の文の日本語訳として最も適当なものを選べ：

无论有多大的困难，我也要坚持学习。

①たくさんの大きな困難があっても、私は勉強を続ける。

②もちろん大きな困難はあるが、私も勉強を続ける。

③当然大きな困難もあるだろうが、私は勉強を続ける。

④どんなに大きな困難があっても、私は勉強を続ける。

⇒ 常識的にありがちな内容が正解

（例）空欄に当てはまるものを選べ。

夏天到了，这儿常常下雨，昨天我买了一 ＿＿ 伞。

①支　②张　③把　④件

⇒ 【一 ＿＿ 伞】の箇所だけが関与。他の部分は無意味。

3) 答えが複数あって、正解を特定できない出題

（例）文中の空欄に適当な１字を埋めなさい。

我最近养了一只狗，这只狗可（　）极了。它跟我特别亲热，我每天一进门，就会冲我直摇尾巴。

⇒ 答１：可爱＋极了　　答２：可＋棒极了

（例）与えられた語①～⑤をすべて使うと、日本語に相当する文になる。（ ）に入る語を答えよ。

①茉莉花　②你　③了　④看见　⑤开

「ジャスミンの花は咲きましたか。」

＿＿ ＿＿ ＿＿ （　） ＿＿ 没有？

文１：你 看见 茉莉花 开 了 没有？ ⇒答１：⑤

文２：茉莉花 开 了 你 看见 没有？ ⇒答２：②

4) 員数あわせとして並んでいるだけで、活きていない選択肢

（例）彼は毎日起きるのが遅いので、朝ごはんさえ食べません。

他每天 ＿＿ ＿＿ ＿＿ ＿＿ ． ＿＿ ＿＿ （　　） ＿＿。

①得　②很　③连　④起　⑤晚　⑥也　⑦不吃　⑧早饭

⇒ 前半の４つの空欄は無意味

＝ ８択に見えて実は４択問題

（例）张君に会ったら、会議の結果を伝えてください。

①你见面小张，把会议的结果告诉他。

②你见了小张，把会议的结果告诉他。

③你见了小张，给他告诉会议的结果。

④你见面小张，给他告诉会议的结果。

⇒ ２（见了小张：见面小张）×２（把～：给～）＝４

＝ ４択に見えて、実は単なる二者択一問題に過ぎない。

（例）発音を聞いて、下の絵に対する説明として適当なものを選べ。

セーターのイラスト　　[音声] ①蚂蚁　②毛衣　③贸易　④谜语

⇒ 誤答まで、実在の単語である必要性はあるか？

5) 問題文、選択肢、解答に使われている中国語が不適格な出題

（例）次の中国語文の日本語訳として最も適当なものを選べ：

在欢迎会上他只好唱了一支。　　⇒ 唱了一首

6) 誤文を選択肢にあげる出題法

（例）①凯西先生＿＿＿＿。

A．把桌子中间推到他的盘子

B．桌子中间把他的盘子推到

C．把他的盘子推到桌子中间

D．推他的盘子把桌子中间到

②＿＿＿领子会使人相信他是最爱惜清洁的人。

A．雪白的他的内衣的

B．内衣的雪白的他的

C．内衣的他的雪白的

D．他的雪白的内衣的

③昨天２８度，今天３０度，今天比昨天＿＿＿。

A．一点儿热　　B．热一点儿

C．有一点儿热　　D．热有一点儿

7) 些末な例外的知識を問う出題

(例) 下線部の発音をピンインで表記しなさい。
貉子：一丘之貉
háo hé

8) 文法用語、専門用語を使う出題 cf.(1)

(例) 次の単語の中で、有気音（無気音・そり舌音・捲舌音…）を含むものを…
次の補語（状語、定語、介詞…）の用法について…

9) 錯乱肢 disturb、トリック問題でひっかける出題

(ヒアリング問題：録音内容)
马英买了一大包东西．有苹果、菠萝、梨、还有几个罐头。
问：下面哪一样东西不是马英买的？
A：苹果 B：菠萝 C：书包 D：罐头

10) 計算問題を出すもの

(例) 服法：每服四片．日服三次。儿童减半．或遵医嘱。温开水送下。
问：根据说明．这种药儿童每次只能吃多少？
A．两片 B．三片 C．四片 D．六片

11) 生活経験・現地知識に関わるもの

(例)·空欄に適当な一字を埋めよ：

阿里先生：
明天是星期六．中午１２点我在友谊宾（ ）门口等你．我们一起去国际俱（ ）部吃饭．希望你准时来。
琼斯 ６月１２日

⇒ 友谊宾馆＝Friendship Hotel、国际俱乐部＝International Club はともに北京市内に実在する施設。

１９９８年6月２７日
於：ビジネス中国語学会

『初級ビジネス中国語を教えて』

上林　紀子
京都外国語大学

貿易通信文の読解力を養成し、簡単なビジネス・レターが作成できるようになるには，何をどう教えればよいか。今回は、大学で中国語を専攻する３回生（ビジネス中国語は３回生の必修科目）に対象を絞って、述べてみたいと思う。

学生は、この講義を受講するまでに、中国語の読み、書き、会話の基礎などはできているが、書面語に出会うのは初めてである。また、この科目はビジネスの方法を知らなければ理解できないことも多い。そのため、この授業は書面語や専門用語の学習および貿易実務の解説を重視した内容となっている。

この科目の受講対象や目標、時間数等については、以下の通りである。

・対象　　中国語専攻の３回生の学生（３回生の必修科目）

・時間数　　週１回の授業で年間２５週

・目標　　（１）貿易通信文が読んで理解できるようになること
（２）簡単なビジネス・レターが書けるようになること

・使用テキスト　「ビジネス中国語マニュアル」藤本恒・岡本篤子著

・使用教材　　上記テキストに合わせて作成した練習のためのハンド・アウト

・学習方法　　（１）貿易に関する基礎的な知識を学ぶ
（２）専門用語の中国語／日本語における理解と把握
（３）常用書面語に慣れること
（４）文を正しく読みこなす訓練（語順・虚詞の呼応関係・介詞・数量詞等に注意する）
（５）作文

Ⅰ．授業の進め方

テキストは第１課から第７課まであり、第１課は「訪問・紹介・招待」、第２課は「引合いとオファー」、第３課は「支払い・Ｌ／Ｃ］、第４課は「船積・保険」、第５課は「クレーム」、第６課は「契約・協議書」、第７課は「交流」という順に構成されている。各課ごとにステップⅠ［会話、参考日訳付きの文例、中文日訳・日文中訳練習問題］、ステップⅡ［日訳なしの文例、中文日訳・日文中訳練習問題］、ステップⅢ［参考日訳付きの文例、中文日訳・日文中訳練習問題］に分かれており、授業ではまず各課のステップⅠを先に学習する。次に時間に余裕があれば、ステップⅡに進む。しかし、年間２５週の授業回数（テスト２回を含む）では、ステップⅡまで進むのはかなり困難である。通常ステップⅡおよびステップⅢの学習は、４回生（ビジネス中国語中級は選択科目）に持ち越される。

内容的に重要なのは第２課から第６課までなので、この部分を重点的に学習し第１課と第７課には多くの時間を費やさない。

実際の授業の場においては、テキストを読んで訳し，専門用語を暗記し、練習問題を行うだけでは、学生の頭にはほとんど何も残らない。そこで、各会話、文例ごとにハンド・アウトを作成し、次のような手順で授業を進めていく。

（１）本読み　　課文を学生に読ませる→　「用語」の確認→　日本語に訳させる

（２）内容確認　　内容に関して中国語で“问答练习”を行う。
（ハンド・アウトｐ．２，ｐ．３“回答下列问题”）

（３）背景説明　　上記（２）によって、学生に何が理解できており、何が理解できていないかが、明らかになる。そこでその「会話」あるいは「文例」の背景にあるビジネスの説明を行う。

（４）用語の練習　　いきなり専門用語を駆使した文を作るのは難しいので、まず専門用語を使ったフレーズを作る練習をし、その後で、そのフレーズを使って文を作る練習を行う。
（ハンド・アウトｐ．１　【語句】２．練習）

（５）表現の練習　　商業文で常用される介詞・接続詞等で、各「会話」「文例」に現れたものを「表現」として取り上げ、例文と問題を与えて、その「表現」に慣れ、また使いこなせるように練習する。
（ハンド・アウトｐ．２，ｐ．３【表現】）

（６）暗記　　各課の「会話」は学生全員に暗記を義務づけ、暗唱させる。

（７）練習問題　　各課の終わりにある「練習問題」（日文中訳と中文日訳）は、宿題として提出させ、添削して返却する。

Ⅱ．学習上注意すべき点

（１）貿易実務に関する基礎的知識の必要性

貿易実務の経験も知識も皆無の学生にとっては、たとえ貿易通信文が翻訳できても、その訳した内容が皆目理解できないという現象が起こる。そのような状態で学習を続けていくと、次第にこの科目に対する興味を失い、学習意欲も低下する。そのため、必要に応じて貿易取引における売買双方のやりとりや、輸出・輸入の流れなどについてある程度具体的に説明する必要がある。たとえば、テキストの図解等を参考にしながら、貿易実務の解説書等から役に立つ図や説明をコピーして配布し、または黒板に図を描いて、説明を加えるなどである。教師が一方的な説明を与えるだけでは、学生の頭の中を素通りしてしまう恐れがあるので、つねに学生を「売り手」もしくは「買い手」の立場に立たせて、考えながら理解させるように努めている。しかし、このような方法だけでは語学を専攻する学生にとってなかなか理解しにくい事項もあって、たとえば、「支払い条件」の項で取扱う「信用状」「Ｄ／Ｐ支払い」「Ｄ／Ａ支払い」などは、それぞれの意味や内容がすぐには把握できない。このような内容に対する理解不足から、見当はずれの翻訳や、ちぐはぐな作文が出現することがある。

そのため、今年度は「支払い条件」の項の説明を行う際、ロール・プレイを取り入れてみた。即ち、［学生１］には「中国側の売主」の役を、［学生２］には「日本側の買主」の役をやらせる。また、［学生３］には「中国銀行」の役を、［学生４］には「さくら銀行」の役を演じてもらい、［学生１］と［学生２］の間で売買取り引きが成立したことにして、信用状を使用した場合、使用しなかった場合、Ｄ／Ｐ支払いにした場合、Ｄ／Ａ支払いにした場合を演じさせてみる。そして、それぞれの場面でどのように「貨物」や「お金」「船積書類」「為替」等が流れていくかということを「体験」させ理解させる。この方法で、今年度は例年よりも容易に理解できたようであったし、同時に「船荷証券」「インボイス」等の専門用語の導入もスムーズにできたように思われる。

（２）専門用語について

専門用語の学習は、学生が中国語／日本語の両面において困難を感じる事柄のひとつである。何故かというと、母国語の日本語においてさえ、「信用状」や「一覧払い」「ＣＩＦ価格」等のことばは、初めて耳にするものであり、その意味するところもほとんど知らないからである。日本語でさえほとんど意味の分からないことばを、中国語で覚えたり、使ったりしなければならないのだから、学生の苦労は察するに余りある。

一通りテキストを学習すれば、例えば、“报价”“询价”“还盘”“实盘”等の専門用語を日本語に訳すことはできるようになるし、その逆もまた可能である。しかし、それぞれの用語がどのような状況の下で使われているのかを正確に把握していなければ、的確に

使いこなすことはできない。つまり専門用語を丸暗記するだけでは不十分で、背景にある貿易取り引きの流れを大まかにでも理解しておくことが不可欠なのである。その理解があり、各語がどのように使われているかを把握すれば、専門用語を的確に使うことができるようになる。

（３）常用書面語について

２年間の中国語学習を終えたばかりの学生は、話し言葉にはある程度慣れてはいても、書き言葉についてはほとんど知識がない。そのため、第１回目の授業の時に、下に示したような例文をいくつか与えて訳を考えさせてみる。学生はそれまでの知識を動員して訳を試みるが、ａ．では、“函”を「はこ」と訳したり、“收悉”を「ことごとく片付ける」と訳したりする。ｂ．では、“该”を助動詞の“该”と考えるから混乱する。ｃ．では、“业已”という語を知らないので、「“运输工作业”は“已经”終わった」というふうに解釈する。そこで謎解きをして、従来の知識にだけ頼っていては、書き言葉特有の表現を多く含む商業文は読み解けないことを理解させる。学生にはこまめに辞書を引いて調べることを要求する一方、教える側も新出の書面語が出るたびに指摘し、いずれかの段階でまとめて提示する必要がある。

ａ．贵函收悉。

ｂ．关于贸易条件，请看该样本第１２页。

ｃ．运输工作业已完毕。

（４）文構造の把握について

文構造を把握するには、次の２点に注目することが必要である。

①介詞は連用修飾語のマーカー、数量詞は連体修飾語のマーカー

［例１］此价格水平在合同期间内保持不变。

［例２］我处在一种虽很想继续进行研究但又帕研究不出什么东西来，因而犹豫不决的状态。

②虚詞の呼応関係

［例３］开发区的企业以外商独资、中外合资和合作企业为主。

この２点を押さえていれば、文章の骨格をとらえることが容易になり、［例４］のような長文でも誤らずに訳出することができるようになる。

［例４］关于贵公司（以下简称乙方）和北京中国机械设备进出口公司（以下简称甲方）于１９９＊年２月１０日在北京签定的有关甲方从乙方购买的许可证产品的专有技术总金额３２，２５０，０００日元的第ＣＪＡ＊＊ＬＴ号合同，我行应甲方要求，开立以乙方为受益人的不可撤销的第ＬＧ－１４２ＬＴ号的保证函。

第３課　支払・Ｌ／Ｃ

◆会話１　付款方式

【語句】

１．一般情况	＿＿＿＿＿＿	手续费	＿＿＿＿＿＿
采用	＿＿＿＿＿＿	押金	＿＿＿＿＿＿
付款	＿＿＿＿＿＿	开（立）信用证	＿＿＿＿＿＿
销售价格	＿＿＿＿＿＿	信用证	＿＿＿＿＿＿
提高	＿＿＿＿＿＿	凭～	＿＿＿＿＿＿
经济状况	＿＿＿＿＿＿	装运单据	＿＿＿＿＿＿
结汇	＿＿＿＿＿＿	稳定	＿＿＿＿＿＿
接受	＿＿＿＿＿＿		

２．練習

［信用证］

信用状を開設する　＿＿＿＿＿＿＿＿

富士銀行より信用状を開設する　＿＿＿＿＿＿＿＿

信用状で支払う　＿＿＿＿＿＿＿＿

信用状を訂正する　＿＿＿＿＿＿＿＿

当社を受益者とする信用状　＿＿＿＿＿＿＿＿

①当社は１１月１日富士銀行より信用状を開設いたしました。

②商品代金（货款）は必ず信用状で支払っていただきます。

③８０２号信用状を下記の通り訂正してください。。

④５月末までに、当社を受益者とする信用状を開設してください。

【表現】

１．“在…下”　…のもとで

１）在一般情况下，你们对保险是怎么规定的？

２）在这种情况下，你们应该向保险公司提出索赔。

2．“使”　　…させる

1）这样才能使客户满意。

2）产品展览会在贵公司的全面协助下，能够在京举行，这使我们感到非常高兴。

3）由于这种商品价格太高，使得它在国际市场上失去了竞争力。

【回答下列问题】

1．要付款的是哪一方？谷口先生，还是郑先生？

2．开立信用证的是买方，还是卖方？

3．用信用证的付款方式有利于哪一方？

4．为什么郑先生坚持用信用证支付呢？

5．信用证上写的受益人是谁？

◆会話２　　补偿贸易

【語句】

1．

录象机	＿＿＿＿＿＿	公司上级	＿＿＿＿＿＿
流水线	＿＿＿＿＿＿	补偿贸易	＿＿＿＿＿＿
笔	＿＿＿＿＿＿	看	＿＿＿＿＿＿

【表現】

“跟…商量”

上司と相談する　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

先方と交渉する　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

①ご要望の工場見学の件につきましては、担当者がただいま先方と交渉中です。

◆会話２　保险

【語句】

１．成交	_____	增加	_____
负责	_____	保险费	_____
投保	_____	负担	_____
险别	_____	发票金额	_____
水渍险	_____	加保	_____
综合险	_____	附加险	_____

【表現】

１．“以”　動作・行為の「手段／よりどころ／方式」を表す

①如果以ＣＩＦ条件成交，由卖方投保。

②日本、南朝鲜部分产业向外转移，有利于我们以较低成本、较快速度对传统产业进行技术改造。

［中訳問題］トン当り５００米ドルの価格で成約することに同意します。

２．“由”　動作・行為者が誰であるかをはっきりさせる

①装船前费用我方负担，其他一切费用由收货人支付。

②运输问题由本公司设法解决。

［中訳問題］国際貿易慣例により、付加保険の保険料は買い手が負担する。

【回答下列问题】

１．买方是谁？

２．如果以ＣＩＦ条件成交，由谁投保？伊藤先生，还是陈先生？

３．如果投保综合险的话，增加的保险费由谁负担？

４．在他们两个人交谈以前，他们俩已经成交了没有？

日本ビジネス中国語学会

設立趣意書

明治以来終戦時に至るまでの間、わが国の外国語教育は、先進文化を吸収するための文化語学と、近隣諸国との軍事・通商に備えるための実用語学にはっきりと分れていました。従って文化語学はアカデミックな研究であり、実用語学は技術的訓練にしかすぎないと見られてきました。そういう潮流の中で、中国語学界のエリートたちは、中国語学を文化語学としてアカデミックな研究の対象にしようと、第2次大戦末期に力説されるようになりました。

第2次大戦後は、曲がりなりにも中国語学はアカデミズムの片隅にその位置を見つけ、大学の教員もアカデミックな研究によつて自分の業績を作るようになりました。しかし、一方で実用語学としての中国語学は軽視されるに到りました。外国語大学や社会科学系学部でも、商業経済や新聞雑誌に関する中国語研究は次第におろそかになり、そのため、この方面の研究に従事する人々は、共同に研究する基盤もなく業績を発表する媒体もないという有様であります。

言うまでもなく、日本のおかれている国際的地位は明治・大正と大いに異り、外国文化に関する見方も先進・落後という単純な区別はなくなり、わが国と中国との関係もまた文化から経済まで広くかつ深いものになっています。中国語の言語理論的研究はもちろんより一層発展させる必要があります。同時に中国語の実用的研究はそれ以上必要であると思われます。

近畿在住の数人の研究者が時折顔を会わせて論議しているうちに、全国各地に散在しているそしてまた学界のみならず経済界で活躍しているこの方面の研究者を結集して、中国語の実用的研究 —— 例えばビジネス中国語・通訳翻訳の研究等々を組織的、体系的に推進するために、ここに「日本ビジネス中国語学会」（仮称）をつくろう、という議が持ちあがりました。

趣旨に賛同下さる方々のご参加を心から期待しています。

日本ビジネス中国語学会会則

第1条（名　称）
本会は日本ビジネス中国語学会と称する。

第2条（事務所）
本会は事務所を大阪市内に置く。

第3条（目　的）
本会はビジネス中国語に関する研究及び関係諸団体との交流を通じて、我が国における中国語学習者の語学能力の向上を図り、もって日本と中国の友好交流の発展に寄与することを目的とする。

第4条（事　業）
本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1.ビジネス中国語、翻訳・通訳に関する研究。　2.日中間の相互理解を深める為の教育・研修事業。
3.セミナー、講演会の開催。　4.機関紙の発行。
5.ビジネス中国語検定。　6.その他前各号に関連する事業。

第5条（会　員）
本会の会員は次の通りとする。
個人会員　本会の目的に賛同して入会した個人。
法人会員　本会の目的に賛同して入会した法人。

第6条（入　会）
本会の会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を提出し、承認を得なければならない。

第7条（退　会）
①本会を退会しようとする時は、理由を付した退会届けを提出しなければならない。
②会員は次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。
1.会費を2年以上滞納したとき。　2.死亡したとき。　3.会員たる法人が解散したとき。

第8条（除　名）
会員が本会の名誉を傷つけ、又はこの会則に違反したときは、総会の決議により、除名することができる。

第9条（役　員）
①本会に次の役員を置く。
会　長　1名　理事長　1名　理　事　10名以上15名以内　会計監事　2名
②理事及び会計監事は、会員の中から総会において選任する。
③会長及び理事長は、理事の互選とする。
④法人会員の代表は役員の被選任資格を有する。

第10条（役員の職務）
①会長は、本会を代表し、会務を統括する。
②理事長は、会長を補佐し、会務を処理する。会長に事故あるときは、その職務を代行する。
③理事は、理事会を組織し、会務を執行する。
④会計監事は、経理を監査する。

第11条（役員の任期）
①役員の任期は、2年とする。但し再任を妨げない。
②補欠により就任した役員の任期は、前任者の残存期間とする。

第12条（役員の報酬）
①役員は、原則として、無給とする。但し、常任の役員は、有給とすることができる。
②常勤の役員の報酬は、理事会の決議により定める。

第13条（顧　問）
①本会に顧問、相談役若干名を置くことができる。
②顧問、相談役等は理事会の議決を得てこれを委嘱する。

第14条（総　会）
①総会は、定時総会及び臨時総会とする。
②総会は会員をもって構成し、この会則に規定するもののほか、次の事項を決議する。
1.事業計画及び収支予算。　2.事業報告及び収支決算。　3.その他本会の運営に関する重要事項。

第15条（総会の召集）
①総会は会長が召集する。
②総会を召集するには、会議の議題並びに日時・場所を開催日の10日以前に通知しなければならない。

第16条（総会の開催）
①定時総会は、毎年１回会計年度終了後３ヶ月以内に開催する。
②臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、又は会員の５分の１以上の請求があったときに開催する。
③総会の議長は、会長がこれにあたる。

第17条（総会の議事）
①会員はそれぞれの一個の議決権を有する。
②会員は他の会員に代理出席を委任することができる。
③総会の決議は、出席会員の過半数をもって行う。

第18条（理事会）
理事会は、理事をもって構成し、この会則に定められるべきもののほか、次の事項を処理する。
1.総会における決議事項の執行。　2.総会に付議すべき事項。　3.資産の管理。

第19条（理事会の召集）
①理事会は年１回以上開催し、会長が召集する。
②議長は会長がこれに当たる。

第20条（理事会の決議）
①理事会の決議は出席理事の過半数をもって行う。
②理事は他の理事に代理出席を委任することができる。

第21条（資　金）
本会は下記の資金により運営する。
1.会員並びに寄付金。　2.事業収入及びその他の収入。

第22条（会計年度）
本会は会計年度は、毎年４月１日から翌年３月31日までとする。

第23条（事務局）
①本会の事務を処理するために、事務局を置く。
②事務局は、理事長が統括する。
③事務局に常勤する職員は有給とすることができる。

第24条（会則の変更）
会則の変更は会員の３分の２以上の承認を要するものとする。

付則　１．本会は1990年12月８日から発足する。
　　２．本会の最初の役員は設立発起人がこれにあたる。

役　員　名　簿

（任期1999年の総会まで）

役員	氏名	所属先
会長	伊地智　善　継	元大阪外国語大学学長
理事長	藤本　恒	日中経済協会関西本部
会計監事	待場　裕子	流通科学大学
理事	安念　一郎	亜細亜大学
理事	伊井　健一郎	姫路獨協大学
理事	今里　禎	天理大学
理事	大河内　康憲	大阪外国語大学
理事	上林　紀子	京都外国語大学
理事	釜屋　修	駒沢大学
理事	輿水　優	
理事	武吉　次朗	摂南大学
理事	塚本　慶一	神田外語大学
理事	戸毛　敏美	関西外国語大学
理事	神崎　多実子	サイマルアカデミー
理事	橋本　南都子	東海大学
事務局長	岩下　孝彦	大阪中国語学院

日本ビジネス中国語学会
入会のご案内

趣旨に賛同される方はどなたでも入会出来ます。
入会ご希望の方は申込み用紙に会費を添えて、事務局までお申し込み下さい。
（設立趣旨・20頁、会則・21頁をご参照下さい）

入会費　１，０００円（個人）　　会費　３，０００円（個人）
　　１０，０００円（法人）　　２０，０００円（法人）

会費納付先　郵便為替００９５０－９－４８５７　日本ビジネス中国語学会

連絡先　〒530-0041　大阪市北区天神橋2－北2－26　マルサンビル4F
日中語学センター気付　日本ビジネス中国語学会
電話　06-353-0671　FAX　06-353-0664

キ リ ト リ セ ン

入会申込書

日本ビジネス中国語学会
会長　伊地智　善継　殿

貴会に入会致します　　１９９　年　月　日

ふりがな 氏　名		女 男	生年 月日	年　月　日
ふりがな 住　所	〒			
電　話	——　　———			
所　属				

会報　第8号　　1998.9.10発行

日本ビジネス中国語学会

〒530-0041　大阪市北区天神橋2丁目北2番26号　マルサンビル4F
日中語学センター気付
TEL 06-353-0671　FAX 06-353-0664